

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「東アンマン・ナザール地区慈善医療センター設立のための医療機材整備計画」  
贈与契約書署名式典

2020年1月20日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「東アンマン・ナザール地区慈善医療センター設立のための医療機材整備計画」のための90,620米ドルの贈与契約署名式典が実施されました。

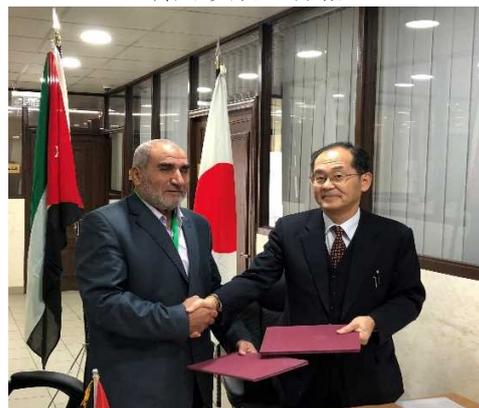
本計画は、1965年の創設以来、国籍にかかわらず、孤児や困窮家庭に生活物資の配布や経済支援を行ってきた実績のあるNGO「アル・ウルワ アル・ウスカ慈善協会」が新設する慈善医療センターに医療機材を提供することにより、難民や孤児を含む貧困層住民のプライマリーケアへのアクセスを改善し、彼らの健康の促進や生活状況の改善に寄与することを目的としています。

同式典では、柳大使と同協会のムーサ・サルマン・アルアクタシュ理事長が贈与契約書に署名し、式典出席者から日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

署名式の様子



贈与契約の締結



慈善協会が支援する孤児からの歓迎



整備中の医療センターの視察

